

鳴尾記念

<AI注目馬>

7, 8

<最終見解>

本命7番マリアエレナ。

芝2000mの重賞では好走率、期待値ともに優秀な母父ディーピンパクト。

米国型ノーザンダンサー系の血を持つ馬は当コース相性良いのも好材料。

相手妙味は母父ディープの9番アドマイヤハダル。

近親に阪神、京都の内回りでG1を2勝した名牝スイートウショウ。
直線短いコースの2000mはベスト。

1番グラティアスは半姉レシステンシア(父ダイワメジャー)の影響もあって
1600mを使われ続けているが、父がハーツクライだけに適性低かった。

元々、2000mの重賞勝ち馬。
距離延長で上積み見込める。